

SORA

web magazine 2015.jun. vol.56

Travel

Philippines Bohol

ボホールの3日間

MAP
CLICK!



Photo & Text : Yasuaki Kagii

ギンガメアジの巨大な群れが海中に渦巻き、フレンドリーな大きなアオウミガメが海草の原っぱで寝そべっている。そんなダイバーに人気のバリカサグ島を中心にダイビングを楽しむことができるボホールの海。ダイバーのためにあるノバビーチリゾートに滞在して、陸はゆっくりのんびり、そして海はエキサイティングに楽しんだ3日間。

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2015
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



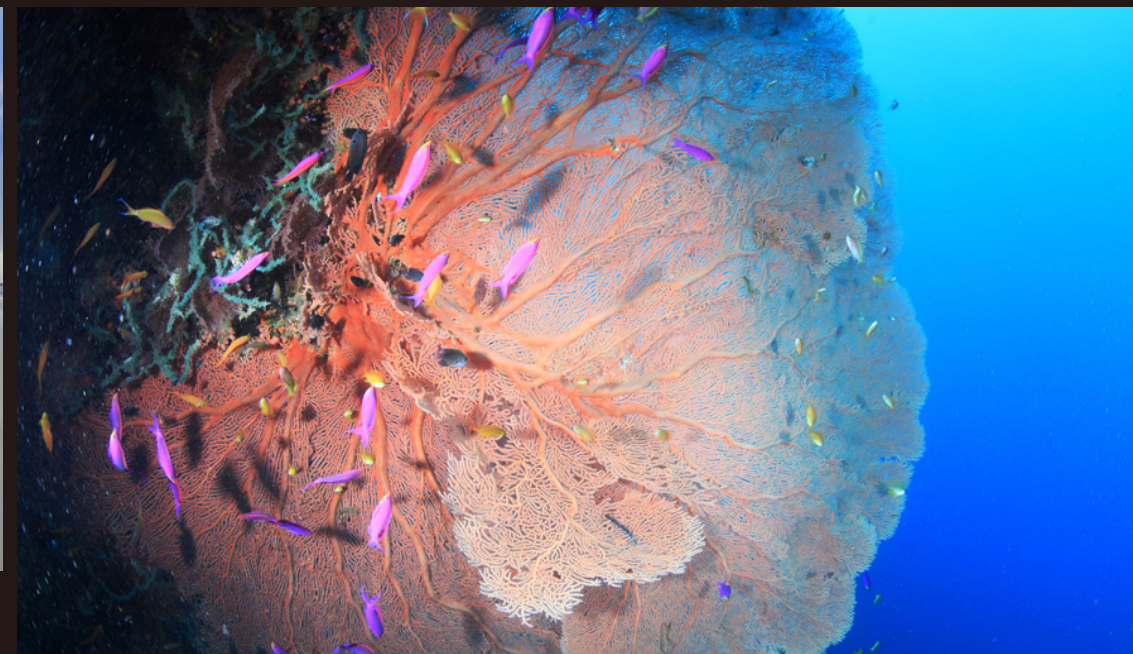


Philippines Bohol Travel



1日目の1ダイブ・サンクチュアリ

7時から朝食。パンケーキやサラダ、卵料理、ソーセージ、ベーコンを頂く。8時にボートは出航して、一路、バリカサグ島へ。約40分の道のり。大型のバンカーボートなので、快適快適。まずエントリーしたのが、サンクチュアリ。狙いはギンガメアジ。水深を20mまで下げて進んでいくと、すぐに小さな群れに遭遇。小さく円を描いて泳いでいるので、接近。ストロボの光に反応して逃げ出そうとするので、あまり追わずに撮影。まずは一安心と画像を確認すると、フィッシュアイレンズで撮影した画像の隅に、ストラップが写り込んでいる…。これはまず



いと違う大きな群れを探して、前に進む進む。しかし、全然ギンガメアジの姿は見つからず。大きなウチワが出てくるので、それを撮影していく。ドロップオフの地形だが、ずいぶん起伏に富んでいて、海底探検している気持ちになる。水深を上げていくと、強い逆光がリーフを照らしていた。サンゴやお魚たちが、シルエットで舞う。結局ギンガメアジの大きな群れには会えなかったが、朝一番、不思議なお魚の世界に迷い込んだ。



Philippines Bohol Travel

1日目の2ダイブ・ブラックフォレスト

2本目のダイビングは有名なブラックフォレストにエントリー。エントリーする辺りが、アマモ場になっていて、アオウミガメが食事をしていた。最初の10分ほどで8匹ほど、簡単に見つかり、それぞれアマモを食べるのに夢中で、接近しても逃げる様子はなかった。十二分にカメとのデートを楽しんだ後、リーフエッジに向かう。カスマアジの群れが小魚たちを狙ってパトロールしている。カクレクマノミやハナビラクマノミなど、クマノミの種類も多い。今回もお目当てのひとつだったギンガメアジには会えなかったが、次に期待!



1日目の3ダイブ・ダイバーズヘブン

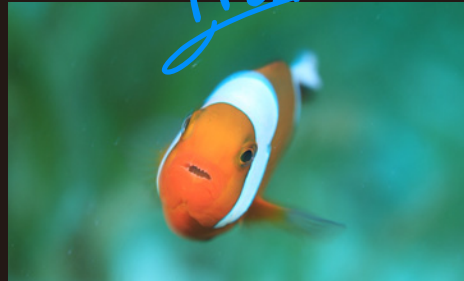
2本目のダイビングを終えて休憩していると、隣の船にモアルボアルと一緒にいた青年がいて、「今この下でギンガメアジのトルネードを見てきました!」と叫ぶので、予定を変更して、私たちも同じところに潜ることに。選んだポイントはダイバーズヘブン。しっかりと見れるように、泳ぐ範囲を広く想定してエントリー。ドロップオフ沿いをいざギンガメアジと進む。15分、25分とダイブコンピューターの時間は進んでいくが、いっこうにトルネードの影は見えない。パーチークダムゼルやイレズミヤッコ、アオウミガメなどを眺めながら、結局45分のタイムアウト! 自然の中での遊びは、そう簡単には行かないですね。

1日目の4ダイブ・カリパヤン

4本目はバリカサグ島を離れ、バングラオ島のポイント。ガイドのロジャーが選んだのは、カリパヤン。水深を下げると15m~20m辺りの大きなアマモ場があり、そこがメインのフィールドになる。まず教えてくれたのは、トウアカクマノミのファミリー。ママは気が強く、カメラに向かってくる。続いてコウイカも発見。可愛く擬態していた。そして、嬉しかったのは青いホヤにハゼが付いていたこと。とてもフォトジェニックだったので、たくさん撮影。でも良く見ると隣のホヤにも付いていた。なるほどなるほど。ガイドのロジャーも得意げにマクロの生き物を見せてくれる。楽しい1ダイブだった。



Philippines
Bohol
Travel



Philippines Bohol Travel



2日目の1ダイブ・ハウスリーフ

早朝6時半からごそごそと海準備。カメラを片手に崖の階段を下りていくと、イカダが用意されていて、それに乗って少し沖合のハウスリーフへのダイビング。所謂、早朝ハウスリーフのイカダダイビングだ。新しい朝日を浴びながらエントリー。白い砂地を見ると水面から飛び込んだ朝日が虹色に輝いている。ロジャーに付いて、スロープを降りていく

と、水深15mから20mの間で、スパインチークアネモネフィッシュ、抱卵したモンハナシャコ、リングアイジョーフィッシュ、ニチリンダテハゼなど見せてもらう。少しでもボ～っとしていたら、ロジャーが「次はこれ、次はこれ」と生き物を見せてくれる。のんびり早朝ダイブのつもりが、かなり忙しい時間になってしまった（笑）。

2日目の2ダイブ・ブラックフォレスト

昨日のリベンジも兼ねて、今日もバリカサグ島へ。海も風、水面を滑るようにバンカーボートは走って行った。エントリーして、まずはアマモ場で遊ぶたくさんのカメさんに昨日と同じように挨拶。トウアカクマノミのコロニーも見つけたので撮影。そして、ドロップオフを流していく。ギンガメアジは出たらいいやくらいの感覚で、海中を楽しむ。チンアナ

ゴの群れを撮影したり、大きなサンゴにキンギョハナダイとデバスズメダイが群れる飛び切り賑やかな景色を見たり。そして、時間が来たので、安全停止。息継ぎをするカメに導かれるように、またドロップオフまで進んでいくと、ロジャーが青い海の先を指差した。

Philippines
Bohol
Travel





ゆっくりと泳ぎ、私たちを何度も飲み込んだ。
いつまでも一緒に泳げよるような気がした。
ガイドのロジャーが「もう上がろうよ~!」
と合図を送ってくるまでは。

Philippines Bohol

Travel





Philippines Bohol Travel



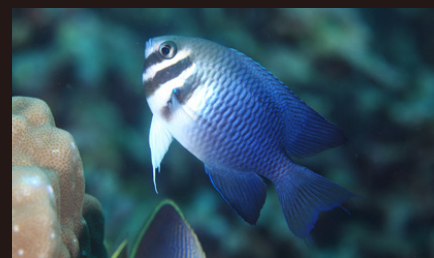
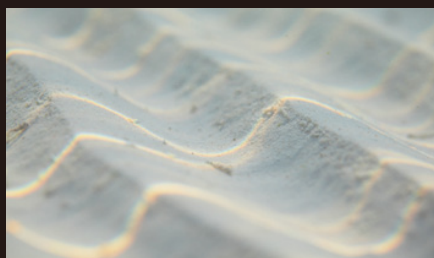
2日目の3ダイブ・ダイバーズヘブン

3ダイブ目も、このまま調子良く行っちゃえ! という感じで、ダイバーズヘブンにエントリー。別のギンガメアジの群れ狙い。ドロップオフ沿いに進んでいくと目につくのは、パープルビューティーの群れ。紫色の小さな粒が青い海に舞っている。残念ながら、ギンガメアジは現れなかったが、カメなどと戯れたのんびりダイブとなった。



2日目の4ダイブ・ターシャ

2ダイブでバリカサグを離れて、バングラオ島へ。リゾートに戻る途中で1ダイブ。ポイントはターシャというポイントで、ハウスリーフの隣のポイント。地形はハウスリーフと同じようなスロープ状の地形で、サンゴの群棲がいくつもある。スパインチークアネモネフッシュやウミウシなどを見ていく。ハウスリーフと同じような環境なのに、ガイドのロジャーが見せてくれる生き物は少ない。やはり、ガイド陣はハウスリーフの方がお得意のようだ(笑)。50分のダイビング終えて顔をあげると、ハウスリーフまで潜っていて、イカダが待っていてくれた。



Philippines Bohol Travel

3日目の 1ダイブ。 ハウスリーフ

6時半に集合してハウスリーフへ。昨日と同じようにイカダで少し沖合に移動。また浅瀬の光を感じて、潜降していく。水深16mあたりを重点的に潜っていく。横に進行するだけで、リングアイジョーフィッシュ、ニチリンダテハゼ、ウミウシ、ヒレナガサンカクハゼなどをロジャーがどんどん見せてくれる。昨日見た生き物も多いが、他にもキャンディーケインドワーフゴビー、バーチクダムゼルの幼魚を発見。個人的にバーチクダムゼルの幼魚が一番好きかもしれない。そして、最後の最後、イカダの下で目のあるアメフラシの仲間を教えてもらう。「なんて、キモ可愛い生き物なんだい!!」。同じ場所に同じ時間帯に潜って、全然違う楽しみが待っていた。

3日目の2ダイブ・バリカサグ島、ブラックフォレスト

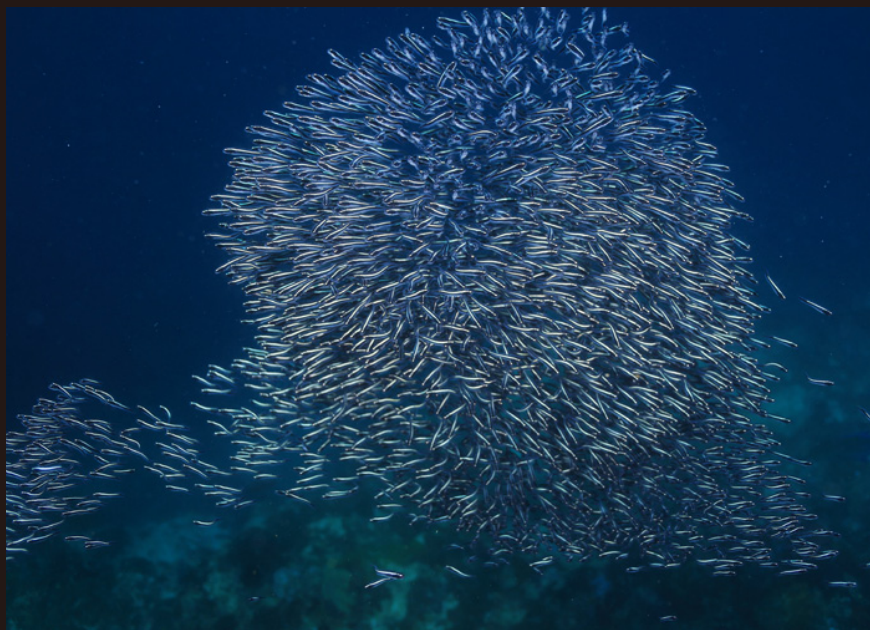
そして、やっぱりバリカサグをリクエスト。9時に集合して、大型バンカーボートで向かう。ギンガメアジはもちろん、見たいけど、今回は、アマモ場だけでダイビングしよう! と決めてエントリー。アマモ場に棲むクマノミをまず撮影。そしてハリセンボンを見つける。逃げないようにゆっくりと接近、なかなか可愛い作品が撮れた。続いてまたフグを遠目

から撮影。草原に棲む生き物のようで、また違ったイメージが湧いてくる。そして、とても大きなアオウミガメが草原で朝食を取っていた。どんなに近づいてもまったく動じずにずっと私の目の前で食べ続けている。私は、残りの時間を全て費やして、カメさんの前にずっといた。

Philippines
Bohol
Travel



Philippines Bohol Travel



3日目の3ダイブ・バリカサグ、サンクチュアリ

3本目は、サンクチュアリでのウォールダイビングを楽しむ。最終ダイブは視点を変えたかったので、マクロの生き物をメインに。一番気になったのはオレンジ色のホヤ。海中で宇宙のような輝きを放っていた。良く見るとスケルトンの人形も写っていて、嬉しいめっけものだった。水深10mほどを進んでいくと、キャンディードワーフゴビーやシロガヤにスズ

メダイとマクロの視点でもカラフルな写真を撮影することができ、なかなかこのようなダイブも楽しいな、と新しい発見。そしてヘビや丸、銀河のように姿を変えるコンビクトプレニールの群れに遭遇。これはかなりインパクトがあった。オーナーの河村さんに聞くと、時々見かけるとのこと。そして最後はギンガメアジの群れに挨拶して全てのダイビングを終えた。

Philippines Bohol Travel

海岸線に面するダイバーのためのリゾート。コンセプトは「ダイビングとリラクセスの一体感」。



ノバビーチリゾート

丘の上から一望できる海景色は、リゾート内にある様々な施設で楽しむことができる。みんなが集まるレストランディングは、大きなパノラマビューで刻一刻と変化する海の色を楽しむことができる。そして、フィリピンの自然素材を生かしたコテージや東屋は、海風が通り極上の空間でもある。客室数17部屋。カテゴリーはスタンダード、セミデラックス、デラックス、デラックススーパー、トレスピラ、シーサイドピラ。温水シャワーとエアコン完備。シーサイドピラのみ朝のお茶のサービス。朝食は、パンケーキ、お粥など毎日日替わり。ディナーはビュッフェスタイルで、フィリピン料理を中心に様々な食材で美味しい食べ物がサービスされる。アフターダブは、プライベートプールでリフレッシュすることも楽しみのひとつ。アロママッサージのサービスもあり（有料）。



Philippines Bohol Travel



ダイビング

ノバビーチリゾートはダイビングセンターを併設している。早朝ハウスリフ、午前中はボートで2ダイブ。午後からのダイビングも積極的に受け入れている。サンセットダイブまで、1日4〜5本可能。潜水時間は40分。現在は、ローカルガイドのロジャー、ロンロンがメインガイド。ふたりとも日本人ゲストのケアに慣れているので、何かと心強い。また、オーナーの河村さんも時々ガイドに加わる。GWなどの繁忙期は、日本人スタッフもバックアップしてくれる。グループは最大4名までの少人数制。大型のバンカーを駆使して、ボホール海の魅力を紹介する。各ダイビングポイントまでも近く、魚影も濃いバリカサグまで、ボートで30〜40分。

